



# かいた病院だより

## 第5号

発行 本田宜久  
編集 広報委員会  
連絡先 TEL 09496-2-2131

### 「新病院建設計画スタート」



当院は、本館建設後40年が経過し、建物の老朽化・狭隘化が進み、良好な療養環境の確保を図ることが難しくなってきました。

そのため、平成24年度春の全館開業を目標に、現地において新病院を建設することが決定しました。

#### 穎田病院 新病院コンセプト

■地域に密着した「町のかかりつけ医」としてのサービスを提供する場として「明るく」、「清潔」で、「機能的」であること。患者さんに安らぎを与えられる病院づくりを行います。

新病院についての情報は、随時お知らせいたします。

# シリーズ 語る 第5弾

## 褥瘡(いわゆる床ずれ)の治療について

“サランラップを貼ると、褥瘡(床ずれ)が治る!?”

今回は、穎田病院の病棟で行っている褥瘡ラップ療法についてご紹介します。

穎田病院では、数年前より褥瘡回診を週1回行い、看護師・医師が連携して、持ち込み褥瘡や新たな褥瘡のチェックと治療を行ってきました。その際、治療の主役であったのがデュオアクティブ®などの創傷被覆剤です。これらは“傷の湿度を保つ”絆創膏であり、褥瘡にピタリと張り付き、内部に傷からの浸出液を溜めることによって本来皮膚の細胞が治る力を最大限引き出すものです。これにより、従来の“乾かして治す”方法よりはるかに早い治癒が得られていました。

しかし、このデュオアクティブ、少々高額なのが玉にキズでした。大体1枚500円～1000円はするため、大きな傷に使うと高額のお金が発生してしまうこともあり、我々が往診に行っている施設などでは自由に使いにくいという声を頂いておりました。なんとか安く、効果も変わらない褥瘡治療ができないものかと思っていたところ、ラップ療法に出会いました。創傷被覆剤の代わりに、軟膏を塗ったサランラップを貼るだけの簡便なもので、実は多くの褥瘡専門家によって、長年使われ実績を挙げてきた方法です。

穎田病院としては、『患者さまに同じ効果でより安価な治療を提供したい、その効果を目に見える形で証明し社会に貢献したい』との思いから、厚生労働省の主催する創傷被覆剤とラップ療法の褥瘡治療比較試験に参加しました。患者さま・ご家族さまから了承を頂き、半年間で4名の方に研究参加頂きました。その結果、褥瘡治療の一線で活躍する専門家のアドバイスを得ながら褥瘡診療にあたることで、医師も看護師も“ラップ療法でも褥瘡が治る”という実感を得ております。現在は褥瘡回診で、個々の患者さまに合わせてラップ療法と創傷被覆剤を選択しております。ご好意から研究に参加くださった患者さま、ご家族さまには誠に深い感謝をお伝えしたいと思います。本当にありがとうございました。これからも穎田病院病棟では、“褥瘡ゼロ”を合言葉に、褥瘡の予防と治療にあたりたいと思います。皆様の暖かい支援を頂ければ幸いです。

なおラップ療法ですが、実はヤケドや通常の擦り傷に使うこともできます。興味をもたれた方は、お怪我をされた際、穎田病院の家庭医にご相談ください。

内科医師 吉田 伸



穴あきラップを生理パッドに貼付



洗浄後、ワセリンを塗布し、貼付して四隅をテープ固定  
これを毎日繰り返す

## 院内ニュース

## ～小児科外来再開～

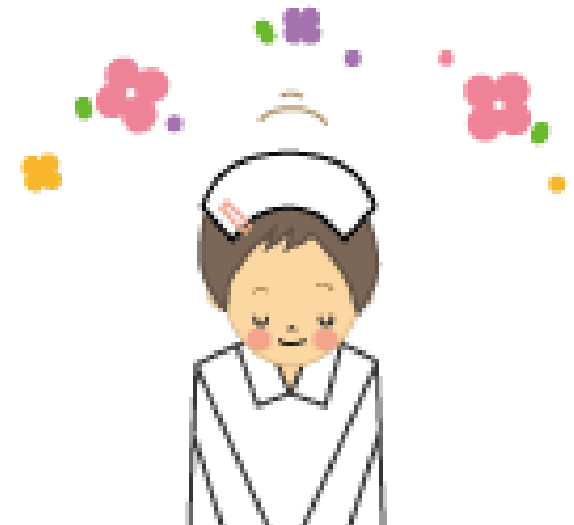
休診中だった小児科を、昨年7月より正式に再開いたしました。飯塚病院小児科と連携のもと、岩元二郎小児科部長が毎週水曜日の小児科を担当します。その他の曜日は、当院の家庭医および内科医が対応いたします。特に、家庭医の茂木、大杉、吉田各医師は、飯塚病院救命センターでの小児科当直も定期的におこなっており、十分に修練を積んでおります。疾患のみならず、予防や健康上の質問についてもご気軽にお尋ね下さい。



## ～看護の日～

“ナイチンゲール誕生の日”にちなんで、5月12日に「看護の日」イベントを行います。患者様・ご家族はもちろん、どなたでも参加できますので、お気軽にお立ち寄りください。

日時：5月12日（木）9：00～12：00  
場所：穎田病院内  
内容：看護・介護相談， 血圧測定， 血糖測定  
健康体操， アロマセラピー



平成24年春

穎田病院が生まれ変わります。

医業拡大にともない、私たちと共に理想の医療作りのため、  
一緒に働いてくださる方々を募集しています。

## 【募集職種】

- ・ 薬剤師
- ・ (正・准) 看護師
- ・ 介護福祉士， 看護助手
- ・ 理学療法士
- ・ 作業療法士
- ・ 言語聴覚士

詳細は、電話にてお問い合わせ下さい。  
電話 09496-2-2132（事務部直通）  
担当 正林， 高浪

ホームページアドレス  
<http://www.kaita-hospital.jp>

採用情報モバイル



# 時事通信

## テーマ：百日咳について

近年、百日咳の患者さんが増加傾向にあります。百日咳とは百日咳菌による呼吸器感染症で、乳幼児に流行するというイメージがありますが、最近の集団感染の報告では大学や職場等での成人の発生割合が増加しています。

なぜ成人患者に急増するようになったのでしょうか。1950年に百日咳ワクチンが導入。その後改良されて81年にジフテリア・百日咳・破傷風三種混合（DPT）ワクチンが定期予防接種に導入され、百日咳患者は減ってきました。社会全体の感染者が減ったため、菌にさらされて免疫を維持する機会が乏しくなったのが原因とみられています。感染初期はただの「かぜ」と症状が似ているため、見過ごされてしまうことも多く、集団感染が起こりやすくなったという事も言われております。咳がひどくなるような時は、できるだけ早めに医師の診察を受けましょう。



臨床検査部 長崎 雅春

### 診療科のご案内

診療時間 午前8:30～午後5:00(月曜から金曜)  
 午前8:30～午後0:30(土曜)  
 受付時間 午前8:30～11:30、午後1:00～4:30(月曜から金曜)  
 午前8:30～11:30(土曜) ※眼科を除く

	月	火	水	木	金	土
内科 8:30～12:30 14:00～17:00	本田 大杉 江本	吉田 安藤/尾田 深町 小山	加藤 茂木 大杉 萬代(第2週)	深町 小田/檜田 藤井	本田 井村 吉田	当番制
小児科 8:30～12:30	江本	大杉	岩元 (飯塚病院)	吉田	吉田	
整形外科 14:30～16:30		非常勤 (飯塚病院)	非常勤 (飯塚病院)		非常勤 (飯塚病院)	
外科 8:30～12:30	長家					
耳鼻科 8:30～12:30		非常勤 (九大)			非常勤 (九大)	
眼科 12:00～15:00				非常勤 (福大)		

平成23年4月現在

～編集後記～  
 三年前、飯塚市より委譲され、懸案事項だった新病院計画もスタートしました。来春には五階建ての新病院に生まれ変わります。建設期間中も現状の病院施設にて診療を継続いたしますが、工事期間中は通路変更等、患者さまをはじめ来院される皆さまに大変ご迷惑をおかけすることになります。ご理解ご協力をお願い申し上げます。  
 東日本大震災の状況も深刻さを増しておりますが、当院でも、義援金を募るなど、できるだけの協力を行っていきたいと思います。(委員)

### <お問い合わせ先>

医療法人博愛会 穎田病院

住所 福岡県飯塚市口原 1061-1

電話番号 09496-2-2131 (代表)